ミラーキャビネット 1面鏡（裏収納付）取付説明書

品番:MPDX-451

施工される前に

●取付けに際しては必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けされ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証をいたしかねますので、十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
●取付業者さまは、商品の欠陥を生じさせる可能性などを有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

安全のために必ずお守りください。

ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

用語および記号の説明

⚠警告…「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠注意…「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠…「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。
必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
🚫…「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
🚫…「分解してはいけません！」
❗…「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠注意

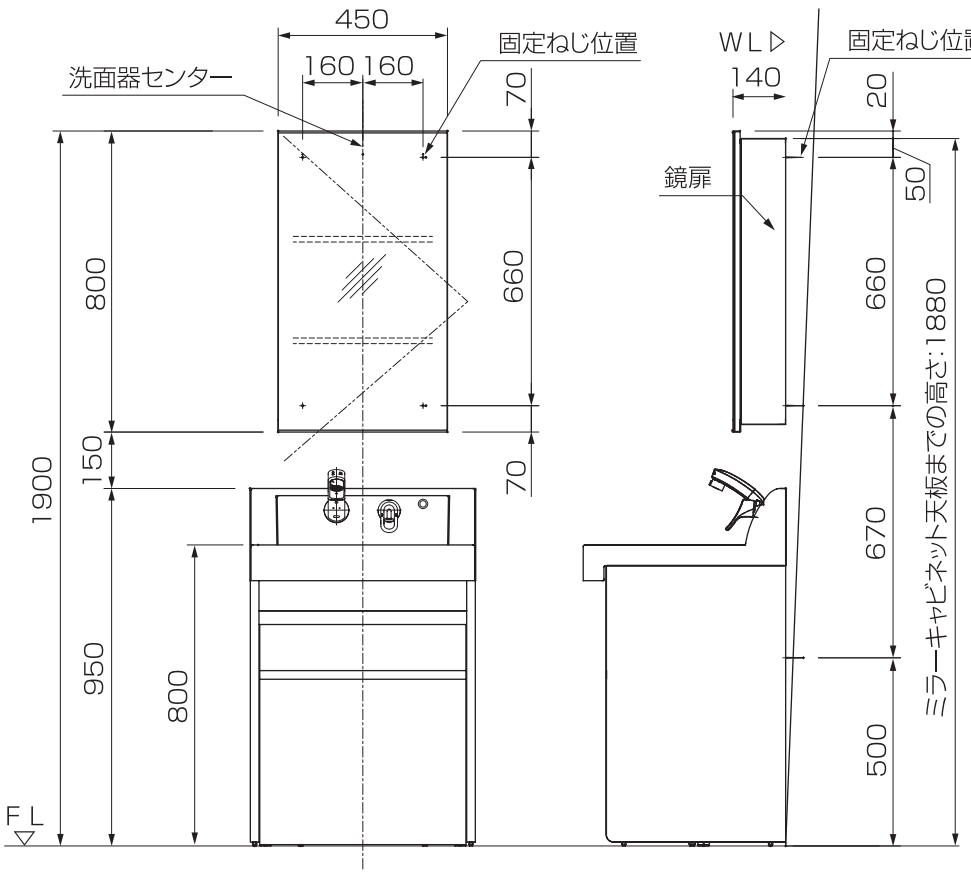
スライド蝶番の調節後は必ず取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるんで鏡扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

鏡扉のつりもとは必ず右にして取り付けてください。
※つりもとを逆にするとミラーが落下し、ケガをする恐れがあります。

お 願 い

●直射日光が当たる場合は必ずカーテン等でさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。
●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤･接着剤･洗剤･その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項にしたがってお使いください。人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

■寸法図



※アッパーキャビネットを設置する場合、鏡扉と干渉しないように離して取り付けてください。

■付属部品

	MPDX-451
棚板	2枚
棚受け	2形状（左右対称）×各4個
本体固定ねじ（皿φ4.5×60mm）	4本
化粧キャップ用連結ワッシャー	4個
化粧キャップ	4個

取付前の確認

壁面工事の確認

⚠警告

取付強度を保てない場合、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

●この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には、取り付けないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を取付けしなおしてください。
●壁の不陸が5mm/2mを超える場合は、必ず壁を取付けしなおしてください。
●壁固定ねじは指定のものを、指定本数使用してください。

乾式壁の場合

●幅90mm×厚み30mm以上の補強木を「ねじ固定位置」（3.寸法図 参照）に必ず設けてください。
●補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、キャビネットの固定強度（図1乾式壁参照）と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
●壁固定ねじが補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
●壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。
●石こうボード等で補強木が見えない場合は、工務店様に位置および固定方法を確認してください。さらに針刺し等で壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
●リフォーム等の現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボード等をはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

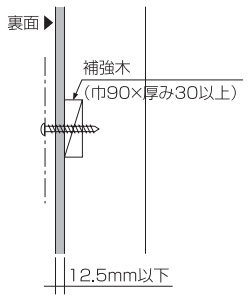
湿式壁の場合

●コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。
●AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
●壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。

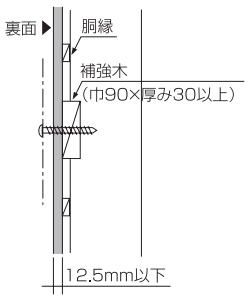
キャビネットを取付可能な壁面

図1 乾式壁

●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け



●タイル仕上げ

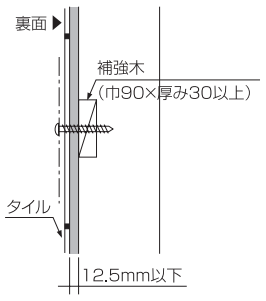
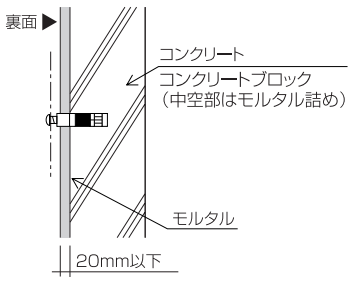
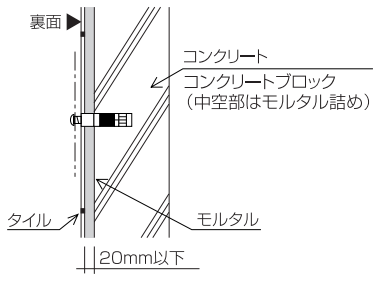


図2 湿式壁

●モルタル仕上げ



●タイル仕上げ



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁についてです。湿式の場合は、下記要領で固定を行ってください。

〈湿式壁の場合の取付方法〉

①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。

②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。

※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。

③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。

④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

（別途手配品）

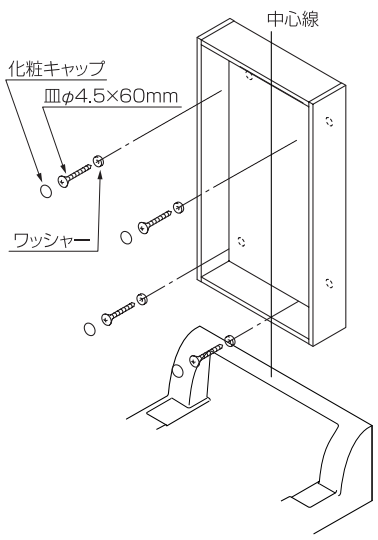
AYボルト:#KB-4×60T（AY）

※φ4×60mm　2本入り（取付穴φ7.5mm、深さ60mm以上）

化粧キャップ:#BM-MFTX-BCS2

※1個入り

取付方法



●乾式壁の場合は付属のねじ（皿φ4.5×60mm 4本）をご使用ください。

●湿式壁の場合は、AYボルト（別途手配）品番:KB-4×60T（AY）（丸頭＋ボルトφ4×60mm）をご使用ください。

①キャビネットの鏡扉をはずします。（はずし方は「扉の取外し方法」の項目を参照してください。）

②キャビネットと化粧台の中心を合わせ、キャビネットの承認図の位置に水平に合わせ、付属のねじ（皿φ4.5×60mm）で壁に固定してください。

お願い

蝶番が右側にくることを確認して固定してください。

※蝶番が左側にあると、鏡が十分に固定されず、落下する恐れがあります。

取付後の確認

■キャビネット本体の確認

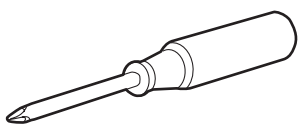
（1）蝶番固定箇所が十分に締まって、ゆるみがないことを確認します。

（2）ガタつきがなく、壁にしっかりと固定されていることを確認します。

鏡扉の調節

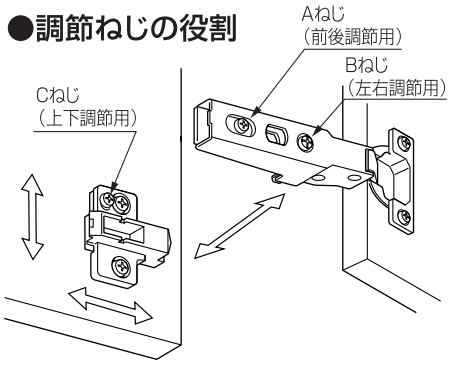
以下の要領で鏡扉の調節を行ってください

●準備するもの



⊕ドライバー

●調節ねじの役割



⚠ 注意

●A、B、C以外のねじには、絶対にふれないでください。

※鏡扉が落下する原因となる恐れがあります。

Aねじ…左右に回すと扉を前後に調節することができます。

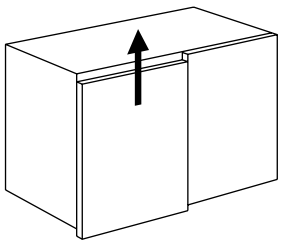
Bねじ…左右に回すと扉を左右に調節することができます。

Cねじ…左右に回すと扉を上下に調節することができます。

●鏡扉の高さが上下（垂直方向）にずれている場合

①蝶番のCねじを左右へ回して調節します。

※調節範囲　上方向1.5mm、下方向1.5mm



●鏡扉の先端が下がっている（上がっている）場合

①下（上）の蝶番のBねじを左右へ回して調節します。

②扉を閉めて確認します。

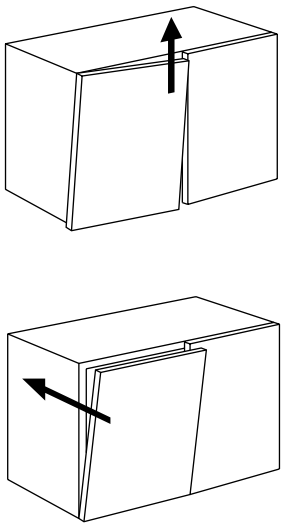
③正しい位置になるまで①～②を繰り返します。

※調節範囲　右方向2.0mm
　　左方向2.0mm

※上記①～③の調節で扉と扉のすき間が他のすき間と違ってきた場合は、上下の蝶番のBねじを同じ割合で回して調節してください。

◆右へ平行移動する場合　Bねじを右へ回す。

◆左へ平行移動する場合　Bねじを左へ回す。



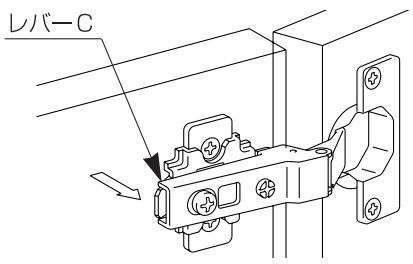
●鏡扉と側板のすき間が上下で違う場合

①上の蝶番のAねじを左右へ回し、扉を正しい位置にします。

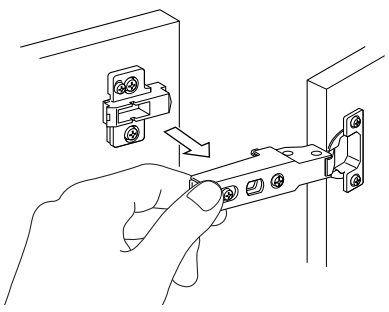
※調節範囲　前方向2.0mm、後方向2.0mm

鏡扉の取外し方法

①蝶番のレバーCを矢印の向きに引っ張ります。



②蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



⚠ 注意

●蝶番が確実に結合していることを確認してください。

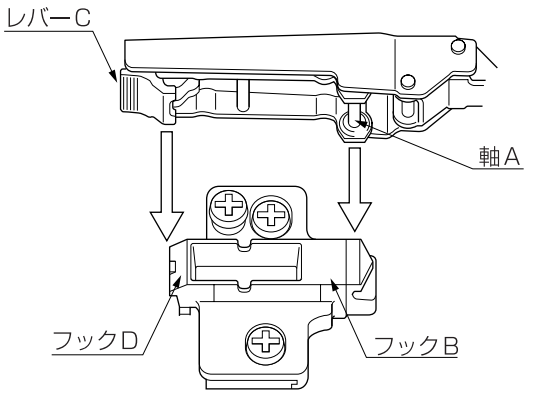
※結合が不十分ですと、鏡扉の落下によりケガをする恐れがあります。

●鏡扉の取り外し、取付は二人で行ってください。鏡扉が重いため危険です。

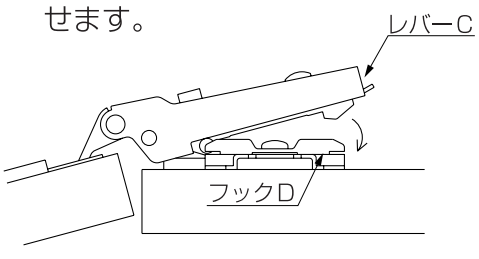
鏡扉の取付方法

●鏡扉の取り付け

①蝶番の軸Aをフック Bに引っ掛けます。



②蝶番のレバーCをフックDに合わせます。



③蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。